

# かむかむ新聞2月号



2011年2月1日(第21号)

## \*最近人気の歯磨き粉\*

メルサーージュ ヒスケア⇒知覚過敏で歯がしみるのを予防。歯を傷つけずにステインを除去し虫歯や歯周病も予防します。ラムネ味なのでミントが苦手な方でも安心して使ってください。(受付;巻渕)

## 《益田衛生士カムカムアドバイス 第21回》

乳歯から永久歯に移行する重要な時期であるため要点を十分に理解する必要があります。  
一生の歯の健康を決める大切な時です。

### 子供の歯から大人の歯へ

子供が5～6歳になると身体の成長に合わせて歯も順備を始め乳歯が順に抜けて行くようになります。「永久歯」の生え変わりの時期です。



### お母さんの頑張りどころ

乳歯と永久歯が入りまじり、抜けたり、生えたり、この時期の子供の口の中は複雑です。歯の手入れも難しい時なので自分で歯磨きができる様になっても、お母さんの点検が必要です。

6才臼歯が一番大切な、はじめての大人の歯です。

乳歯の健康がきれいな歯ならびをつくります。  
お口の健康を維持するためにも虫歯をつらない



“かむ”ことが健康な歯をつくります。

この度正式に副院長に就任しましたのでご報告致します。星谷院長の『できるだけ痛くない・歯を削らない・抜かない』をモットーに至らない事もございますがこれからも精進して頑張りますので宜しくお願い致します。

副院長 田中 勇光先生



## Dr 柳田《インプラント患者さんからの便り》

毎日の診療の中で患者さんの声が聞こえると嬉しくなりますよね。

昨年、12月にインプラントで咬み合わせを回復された患者さんから、お言葉を貰えることができました。最初にお会いした時は歯ぐきのあちこちが定期的に腫れ、痛みが強い時はお薬を飲んで炎症を抑えていました。

インプラント治療に入るまでは、まず歯ぐきの腫れを治療すべく歯周病の治療から入りそれぞれの歯の問題も治療していきました。

ですから今でも長いお付き合いをさせていただいております。

### (頂いたコメントを載せて頂きます)

『インプラントについて不安が少しありました。

手術の際に痛みがあるのでは、物をうまく噛めるのか、その後痛みが出るのではと考えました。

手術にあたり、担当医の柳田先生が順序よくわかりやすく説明してくれました。治療に関してはとても手早く丁寧にしてくれて、大変信頼が持てました。

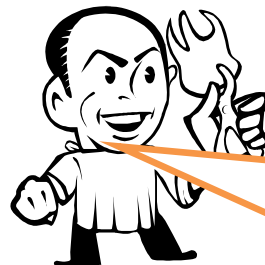
今も2カ月に一度治療に通っています。

歯の無い時より上手に良く咬めるようになりました。有難うございました。』

## 《院長診療の休診のお知らせ》

椎間板ヘルニアのため2月初めに入院して手術します。

1ヶ月間は療養につとめて、3月下旬頃からポチポチ診療に復帰する予定です。



ご迷惑掛けますが  
元気になって帰ってきます。  
待っていて下さい。

院長 ほしや